

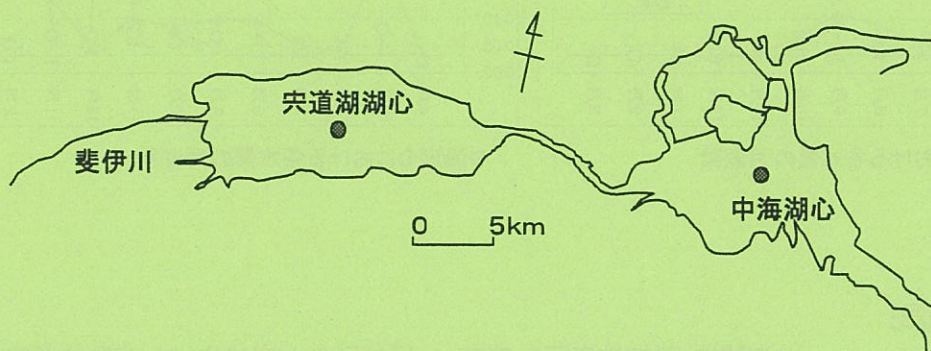
# 輝水だより (第 13 号)

[問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

課長補佐 安田 22-5562

平成 11 年 1 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

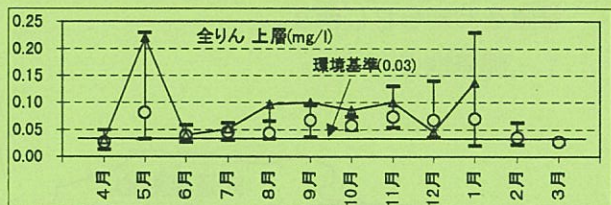
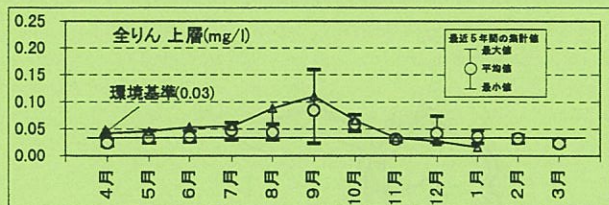
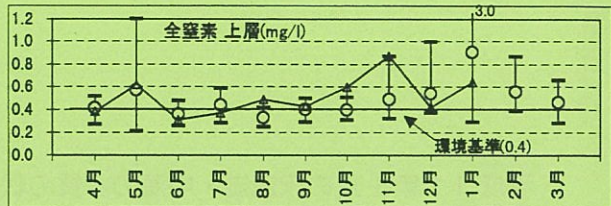
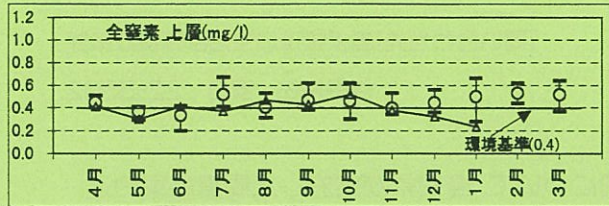
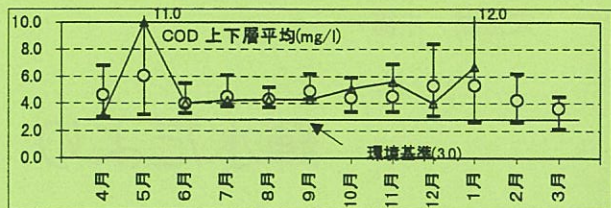
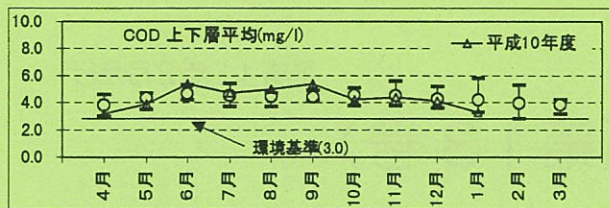
## 1. 調査地点



## 2. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去 5 年間(平成 5 年度～9 年度)の同月と比べると、COD、全窒素及び全リンは最も低い値を示しました。また、宍道湖全域の観測によると、中央部でアオコが確認されました。
- (2) 中海湖心では、過去 5 年間の同月と比べると、COD 及び全リンは平均値よりも高い値で、全窒素は平均値よりも低い値でした。また、中海における島根県域の観測によると、湖心から西の水域及び安来港で赤潮が確認されました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考] 平成9年度平均	
			11月	12月	1月	11月	12月	1月	宍道湖	中海
水温(上層)	°C	—	15.1	9.6	8.6	16.3	11.0	7.7	—	—
pH(上層)		6.5～8.5	8.7	8.1	7.9	9.1	8.6	8.8	—	—
GOD(上下層平均)	mg/l	3以下	4.4	4.1	3.3	5.6	4.0	6.7	4.4	4.3
SS(上層)	mg/l	5以下	6	4	2	10	5	21	6	7
DO(上層)	mg/l	7.5以上	10	10	11	10	11	11	9.9	9.5
DO(下層)	mg/l	7.5以上	8.6	<0.5	4.6	0.5	2.7	1.9	9.0	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.38	0.32	0.23	0.87	0.42	0.64	0.51	0.49
全リン(上層)	mg/l	0.03以下	0.034	0.027	0.016	0.10	0.046	0.137	0.050	0.052
Cl(上層)	mg/l	—	1100	1300	2200	7200	9900	9700	1200	6800
Cl(下層)	mg/l	—	1600	5300	3900	16000	15000	15000	1300	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	27	9.6	7.6	38	15	70	25	15



中央湖湖心における各水質の月変動

中海湖湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は 8.2、河川水は 7 前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は 18800mg/l です。